

## 刈込湖

刈込湖は、奥日光北部の山奥にある 2 湖の大きい方です。この 2 湖は穏やかなエメラルド色の湖水とそれを取り囲む太古の森で知られています。細い水路で繋がっている 2 湖は、幾千年も前に、谷から溢れ出てきた水流が三岳（1,945m）の火山噴火で噴出した溶岩流にせき止められたことによって形成されました。刈込湖 は、幅が最も広いところでおよそ 600m、水深は深いところでは 15m にもなります。地表には湖から流れ出ている河川や水路が確認されていないため、湖水は地下の水路を通して流出していると考えられています。周辺地域には、手つかずの森林、火山岩の露頭、そして、木々や岩のみならずハイキングコースの道にも生えている多種多様なコケが見られます。

湖名の由来にまつわる伝説によると、日光地域の寺社仏閣を開いた仏僧、勝道上人（735–817）は、湖のそばに棲む大蛇が周辺の住民を怯えさせていると耳にしました。上人はその怪物を斬って倒し、その亡骸を湖の水中に葬りました。この出来事を称え、2 つの湖にはこの武勇にちなんだ名前がつけられました。刈込湖の *kari* は hunt（狩る）、*komi* は push down（押し込む）という意味です。

2 つの湖へは、三岳の周囲にぐるりと延びている、湯元温泉と光徳温泉を結ぶハイキングコースで向

かうことができます。刈込湖は、湯元温泉側の起点からコースに沿って約 70 分歩くと最初に見えてくる湖です。